

			部会名	人づくり・地域づくり部会	
施策No.	4-2-1	施策名	市政への参画・協働機会の拡充	施策主管課	地域づくり課
■内部評価について					
①成果指標について	<p>・成果指標の項目は、施策の目指す姿に沿っているか。 →参画に関する指標のみで、協働に関する指標がない。協働の指標は、市民アンケートG-3《協働のまちづくり》が妥当である(政策4-2の成果指標と重複で構わない)。</p> <p>・目標値の設定は適切か。 →目標値を増やしていく方向性自体は適切である。ただし、参加の裾野を広げるのであれば、市民全体の目標値だけではなく、市民アンケートのクロス集計で値が低い人達の目標値も必要である。</p> <p>・他に考えられる指標はないか。 →市民アンケートの性別・年齢別などのクロス集計も指標に含めれば、全体の底上げをはかる際にどこに重点を置けばよいかも明らかになる。また、市民アンケートは「主観」的な評価であるので、ハガキやメールの件数などの、実際の行動に関する「客観」的な指標も必要である。</p> <p>・成果指標の達成状況についての確かな分析を行っているか。 →施策評価シートでは、平成26年と平成27年で「市政へ意見を述べる機会の確保」の指標が目標値を上回った背景の説明が不十分である。</p>				
②施策を構成する事務事業について	<p>・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →協働に関する取り組みが不足している。</p> <p>・目指す姿の実現に貢献している事業か。 →市民の市政参画の機会確保の面では貢献している。</p> <p>・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 →ない。</p> <p>・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →参画の少ない住民層を主な対象に協働に関する取り組みを増やし、成果の向上を図る必要がある。また、市民の市政参画や協働の成果向上を図る上で、市民参画・協働推進委員会の機能が現状では弱い。</p> <p>・他に考えられる事業はないか。 →市民に市政への参画や協働の行動を起こしてもらうには、その前段階として市政への関心を高めてもらう必要がある。そのためには市長選挙や市議会選挙などの投票率向上の取り組みや、コミュニティ会議に一般市民が参加しやすくなるような工夫など、本施策の取り組みだけではなく、他の施策の取り組みとの連携も重要である。</p>				
③施策の総合的な評価	<p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点や課題が明確になっているか。 →施策評価シートの(課題)の内容と(今後の方向性)の内容が対応しておらず、問題点や課題が十分整理されているとは言えない。また、市民の立場で見ると、課題に記載されている問題点は捉え方が甘い。今後の方向性の内容が具体性に乏しく、具体的な工夫の内容を明記する必要がある。</p>				
④シート記載内容について	<p>・施策の取り組み実績や事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 →ヒアリングの際、施策評価シートの書面に書かれていないものの、重要と思われる取り組みの話が出たことから、施策評価シートでは、参画や協働に関する取り組みが十分に記載されていないと考える。特にゼロ予算で知恵と工夫で取り組んでいることがあるのであれば、評価シートに記載すべきである。</p>				